

中田 明恵 教授  
博士(保健学)

Akie Nakada

✉ akie.nakada@komatsu-u.ac.jp

研究  
Keyword

事業評価、生活習慣病予防、精神的健康、睡眠、要支援高齢者

## プロフィール

2008年 金沢大学 医薬保健研究域 保健学系 看護科学領域 助教  
 2015年 金沢大学大学院 医学系研究科保健学専攻 博士後期課程 修了  
 2021年 公立小松大学 保健医療学部 看護学科 准教授  
 2022年 公立小松大学保健医療学部看護学科 教授

## 研究分野

公衆衛生看護学 / 地域看護学

## 所属学協会

日本公衆衛生学会、北陸公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本産業衛生学会

## 専門分野・研究分野

## 研究を通して地域全体の健康の底上げにつながる活動を

公衆衛生看護は地域に住むすべての方を看護の対象とします。地域には様々な健康レベルの方が住まい、その生活背景や価値観も多様です。人口減少が進む中、持続可能な社会を作っていくためには人々が健康に過ごせる期間を長く保っていきることが必要です。住民お一人お一人が状況・状態に合わせたセルフケアを行えるようになることや自ずと健康に過ごせる環境整備等のために、個人・集団を対象としたよりよい支援・活動の方法と評価について、保健師や地域保健に関わる関係者の方とともに考え、研究を通して、地域全体の健康の底上げにつながる活動を行いたいと考えています。また、将来の健康な地域を目指し、自身で健康管理を行う力をつけた若者を増やしていくため、若い世代に対し自分の身体を観察する力、セルフケアを行う力を楽しく学んで身につける機会を提供し、人生の土台となる「健康」を自ら作っていける人を増やす活動も考えています。

現在、本学において、アクティブラーニングの手法を用いた演習を行っています。アクティブラーニングは従来の講義型の学習ではなく、学生が能動的に授業時間内に(時間外にも)活動を行う中で学びを深める手法で、非常に有用な手法と考えています。そしてこの手法は大学教育だけでなく、地域における健康教育などのさまざまな場面に応用可能なものと考えます。大学での教育活動の実践を地域にも拡大・応用し、保健師をはじめとする地域の健康を守る専門職や関係者の皆さまの活動の応援ができればと思っています。

## 研究内容

対象者個々の観察研究から保健事業の評価  
地域の健康データを用いた研究まで

## 【観察研究】

要支援高齢者の照度と精神的な健康の関係

## 【保健事業や支援活動の評価】

赤ちゃんふれあい体験学習事業の評価 / 就学サポート相談会事業の評価(写真1)

## 【地域の健康データを用いた研究】

健診データによる地区の健康状態のみえる化 - 行政と大学の協働による成果 - (写真2)

## 【アクティブラーニングを用いた教育活動に関する研究】

臨床実習導入教育におけるPBL / ポスターツアーを用いたアクティブラーニングの取り組みの検討



写真1 白山市発達相談センターと協働し学会にて発表

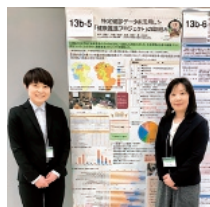


写真2 小松市いきいき健康課と協働し学会にて発表



保健師の「困った」や地域の健康を共に考えたい!

## シーズ・地域連携テーマ例

- 保健事業の評価
- 健康関連データの分析とアセスメント
- アクティブラーニングを活用した教育、教育効果

## 論文

- Illuminance, Subjective Sleep Quality, and Psychosomatic Health in Elderly Individuals Requiring Care: A Survey of Japan's Hokuriku Region in Winter, Akie Ichimori, Keiko Tsukasaki, et al, JOURNAL OF COMMUNITY HEALTH NURSING, 32 (2), 104-114, 2015
- Measuring illuminance and investigating methods for its quantification among elderly people living at home in Japan to study the relationship between illuminance and physical and mental health, Akie Ichimori, Keiko Tsukasaki, et al, GERIATRICS & GERONTOLOGY INTERNATIONAL, 13 (3), 798-806, 2013

## 講演・口頭発表等

- アクティブラーニングによる地域診断演習における学生の学び, 中田明恵他, 第12回日本公衆衛生看護学会学術集会(北九州市小倉), 2024年1月
- 特定保健指導が高齢者の1年後の健診結果に与える影響: 回帰不連続デザインによる検討, 塚谷才弘, 中田明恵他, 第82回日本公衆衛生学会総会(筑波), 2023年10月
- Evaluation of University Support, Preparation, and Implementation in the Local Government's COVID-19 Mass Vaccination, Part One: Evaluation of Collaborator Briefing and Preparation in Universities, Akie Nakada, Ritsuko Aijo, et al, the 7th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (Taipei, Taiwan) 2022年10月
- 発達障害の疑いのある児とその母親が参加する遊びの教室における保健師の支援技術, 前田朱美, 中田明恵他, 第8回日本公衆衛生看護学会学術集会(愛媛), 2020年1月

## 競争的資金等の研究課題

- 「非接触参加者交流型の地域における新たな腎機能低下予防教育プログラムの開発」科学研究費(基盤研究C), 研究代表者, 2022年度-
- 「プレママ世代の育児力向上を目指したヘルスリテラシーの育成」, 科学研究費助成金(若手研究B) 研究代表者, 2016-2018年度
- 「北陸地方の要支援高齢者における冬季の照度が睡眠、活動、心身の健康に及ぼす影響」, 科学研究費助成金(若手研究B) 研究代表者, 2011-2015年度
- 「要支援高齢者において一日の照度が睡眠・活動・心身の健康に及ぼす影響」, 科学研究費助成金(若手研究スタートアップ) 研究代表者, 2009-2010年度

## 社会貢献活動

- 小松市健康づくり推進協議会運営委員(2023年7月~)
- 小松市国民健康保険運営協議会委員(2022年7月~)
- 小松市新型コロナウイルスワクチン集団接種協力事業(公立小松大学看護学科) コアメンバー(2021年度)
- 小松市 地域の健康状態のみえる化プロジェクト企画(2015-2018年度)